

平成30年度病害虫発生予察注意報第7号

平成30年12月27日
愛 知 県

作物名：ナス

病害虫名：ミナミキイロアザミウマ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生量 やや多い
- 3 注意報発表の根拠

11月下旬以降本種の発生が多い傾向が続いており、12月下旬に実施した巡回調査の結果、寄生葉率が6.1%（平年3.7%、前年2.2%）で、過去10年と比較して2番目に高くなった。

4 防除対策

- (1) 発生状況をよく観察し、早期発見に努めましょう。
- (2) 本種の発生を認めたら、下表を参考にして、密度の低いうちに防除しましょう。
- (3) 本種は、薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統（IRACコード参照）の薬剤の連用は避けましょう。
- (4) 訪花昆虫を導入しているほ場では、それらへの影響に注意して薬剤を選定しましょう。



図 成虫

表 なすのアザミウマ類・ミナミキイロアザミウマに対する主な防除薬剤

適用害虫名	農薬名	使用時期	希釈倍数	使用回数	系統	IRACコード
アザミウマ類	アグリメック	収穫前日まで	500～1000倍	3回以内	マクロライド	6
	ファインセーブフロアブル	収穫前日まで	1000～2000倍	3回以内	その他	未記載
	モベントフロアブル	収穫前日まで	2000倍（散布）	3回以内※	環状ケトエノール	23
ミナミキイロアザミウマ	コテツフロアブル	収穫前日まで	2000倍	4回以内	ピロール	13*
	ベストガード水溶剤	収穫前日まで	1000～2000倍	3回以内	ネオニコチノイド	4A

※モベントフロアブルは、灌漑での登録もあるため、総使用回数に注意する。

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、http://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2018/mechanism_irac03.pdf を参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-62-0085 内線471